

果を収めやうなど考へる人があつたら夫れこそ時代錯誤の甚だしきものであると評さねばなりません。私は斯様な意味からして近來唱へらるゝ處の教育費節減問題を遺憾とする一人であるのであります。即ちそれと同じ意味合に於て凡そ兒童保護の目的を達成して所謂次代の帝國民を完全に育成しやうと云ふ立場から兒童保護の問題を考察する時に方り經費を惜んで其れが出来やうなどは固より夢にも思はないのであります。否以上私の主張する様な養護を中心とした學校教育の改造は假令幾何の經費を要しても是非斷行しなければならぬこと考へるのであります。私は斯様にして初めて兒童保護の問題は眞の目的を達するものであると信するのであります。

## 斷片

子供が二人喧嘩を始めて、握みあひ引き搔き合ひになつた時、大人が其處へ飛び込んで、兎に角これを引きわけなければならぬが、そのやりがたはい

ろく／＼あらう。大人の腕力にまかせて、二人を引きはなすことも出来やうし、大聲に叱りの言葉をあびせて子供達を氣がつかせることもあらう。或はさうした興奮状態に居る二人の幼ないものに、心からの同情をそゝいで、「さあさあもつと喧嘩がなさいたいの。」と、殺氣だつた二つの顔を私達の一つの胸に押しつけさせる。かくて、争ふ二つの魂は直ぐに柔らぐ。その瞬間に、「さあ、もう、仲好しになりませうね」と、小さい額をゴツンゴツンさせると、二つの涙の顔には可笑しくて堪らないといふ表情があらはれて、心は鎮まる。大人の審判さばきといふものにあはずに、幼ないものは、そのまゝ手に手をとつてまた楽しく遊ぶ。かうした方法もある。訓育といふことは、嚇すことでも、たしなめることでもない。たゞ私達は彼等に、愛の心が相通じればそれでよい。